平成 28 年 2 月度

議　　事　　録

品質方針

継続的な顧客の信頼をめざし、
より良い工事の施工をおこなう

株式会社　大同設備工業

研修会役員会議事録

平成 28 年 1 月 27 日開催

【議事内容】

Ⅰ．安全衛生協議会について

（1）安全目標

年間安全目標　　「　転落・墜落災害の絶滅　」

月間安全目標　　「　健康管理（インフルエンザ予防）　」

「　不安全行動の絶滅　」

（2）その他

・講習、技能講習ほか・・・TOTO

・営業より及び安全パトロール報告・・・篠原課長

・工務より諸注意事項・・・福永課長

・災害事故事例報告

・その他

・会社より・・・山根社長

Ⅱ．討議事項及び研修会関係議案

（講習の今後の予定）

上記内容で、討議及び決定したことを確認します。

研修会会長　井谷　　幹事　柴田　　幹事　大内

幹事　美甘　　会計　亀山　　幹事　上田

顧問　森元

研修会・安全衛生協議会開催記録

１．開催日　平成　28 年　1 月 27 日　水曜日
　　午後　6 時 00 分　～　6 時 40 分まで
　参加人員　　次ページのとおり

２．開催内容
　安全衛生協議会について

今月は、休業災害・不休災害・交通災害、ともにゼロでした。日々の安全対策にご協力ありがとうございます。来月も引き続き「無事故・無災害」でお願いします。

今月結果	：	休業災害　0	不休災害　0	交通災害　0
今期累計	：	休業災害　1	不休災害　1	交通災害　0

年間安全目標 「　転落・墜落災害の絶滅　」

月間安全目標「　健康管理（インフルエンザ予防）　」

風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。人は無意識に手を鼻や口の周りに持っていく癖があります。
日常生活の中でも、手を使うことは生活の中心であるため、ドアノブや電車のつり革など、様々な場所にウイルスが付着しています。そういった場所を触った手で、自分の目や鼻、口を触ったり、食事をしたりすることで、ウイルスが体内に侵入してくるのです。このような状況では、手にウイルスが付着することを未然に防ぐことは困難なため、ウイルスなどの感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切になるのです。
手洗は、帰宅時や食事前だけでなく、電車のつり革や共有のパソコン、トイレのドアや会社の入り口など、不特定多数の人が触れるようなものに触れた後にも可能な限り行うことが大切です。

月間安全目標「　不安全行動の絶滅　」

安全設備を正しく設置しても、作業員がそれを使わず不安全行動をとり、その結果、労働災害を引き起こす、いわゆる「ヒューマンエラー」による災害が現場で頻発している。

・危険軽視、慣れ
「これぐらいの高さであれば安全帯を使用せずに作業をしても大丈夫」「少しの間であれば重機の作業半径内に立ち入っても平気だ」「急いでいるので、切梁上を通路代わりに使ってしまえ」のように危険と分かっていてもそれを受け入れ、不安全行動をとり労働災害を引き起こすことがある。建設現場では、危険軽視による労働災害があまりにも多い。

・連絡不足
現場では安全指示が上手く伝わらないエラー、いわゆるコミュニケーションエラーがある。毎日の作業の打ち合わせ、朝礼、KYK、等において、元請の現場所長から職員、元請職員から協力業者の職長・作業員、１次業者から２次業者等に安全指示が伝えられている。しかし、「安全指示に費やす時間が十分にない」「安全支持者が現場状況を把握していない」「指示が曖昧、指示がマンネリ」等により、指示が正しく伝わらず事故が発生することがある。

・近道・省略行動本能
面倒な手順を省略したいなど、効率的に物事を進めようとする本能であるが、時に不安全行動につながってしまう。足場の階段の使い勝手が悪ければ建枠を階段代わりに使ってしまう。対策は近道･省略行動本能を起こさせないような使い勝手のよい仮設安全通路等を設置することである。

・パニック
非常に驚いた時やあわてた時、脳は正常な働きをせず、エラーを犯しやすくなる。例えば、コンクリートのはつり作業で､ブレーカーの停止ボタンを押そうとしたが防振手袋をはめていたため、上手く押せない。ブレーカーは止まらず勝手に動き作業員はパニックになり被災。このような災害事故事例は多くある。

・単調作業による意識低下
人間は単調な反復作業を続けると意識が低下しミスを起こしやすくなる。例えば一度に大量の鉄筋結束作業は単調な繰り返し作業になるおそれがあり、意識低下による労働災害に注意する。

このように様々なヒューマンエラーによって、事故は起こります。
これらの人間が起こす、または陥りやすい特性をよくよく理解して、万全な安全作業でお願いします。

営業より（篠原課長）

・営業、受注活動の近況報告

大親会パトロール報告（篠原課長）

・瀬戸内市民病院、川崎医科大学附属川崎病院

工務より諸注意事項（福永課長）

・塩ビパイプの面取り作業ですが、ベビーサンダーを使用している人がいるようですが、片手作業になり大変危険ですのでやめて下さい。メーカーに確認したところ、面取り幅は、40φ未満は1mm、50φ以上は2～3mmで充分なので、ベビーサンダーの過剰な面取りをしなくても、リーマー等で充分対応できますので周知しておいて下さい。

・在庫の持出し記入を周知徹底して下さい。まだまだ未記入のものがあります。「後から書けばいい」では忘れます。持出した時点ですぐに記入して下さい。

・ハンドソーの替刃の持出しについて箱ごと持出ししないで下さい。たまに箱ごとなくなり、いつの間にか箱ごと返却されている場合があります。必要な個数のみ持出すようにして下さい。また使用しなかった場合は返却して、持出し記入している場合は、マイナスで持出し記入して下さい。

災害事故事例報告

① 『鋼製天井下地材で右ひじを切創』

平成27年度

平成27年10月22日

災 害 報 告 No.18 （不休災害No.12）

施工技術本部
安全指導部

災害発生日時		19時30分	間接受注	
災害発生場所	某スーパー新築	被災者	54歳	男性
職　　種	電工	経 験	29年	一次
災害の程度	右ひじ上部 切創	事故の型	切れ・こすれ	
休業見込み	不休	起因物	天井下地	

＊鋼製天井下地材で右ひじを切創

災害発生状況

天井内配線を確認するため、上半身を点検口に入れていた。
確認終了後、上半身を出そうとしゃがんだ際、作業服右そでが天井下地材に引っ掛かった。
身体をよじって外そうとしたところ、下地材の鋭利な角で右ひじの上部を切創した。

類似災害 （天井内作業における災害）
・平成27年度 No.17 電線固定用インシュロックを切断しようとして電線を切断、感電 （不休）
・平成24年度 No.01 配管撤去時、加熱銅管で火傷 （不休）

原　因
・下地材に引っ掛かった作業服を無理やり外そうとした
・残業で早く次工程に進みたい思いがあり、焦りがあった
・作業が時間外におよび、疲労が蓄積し集中力が欠如していた

対　策
・慎重な行動を心掛ける
・無理な動作は行わない

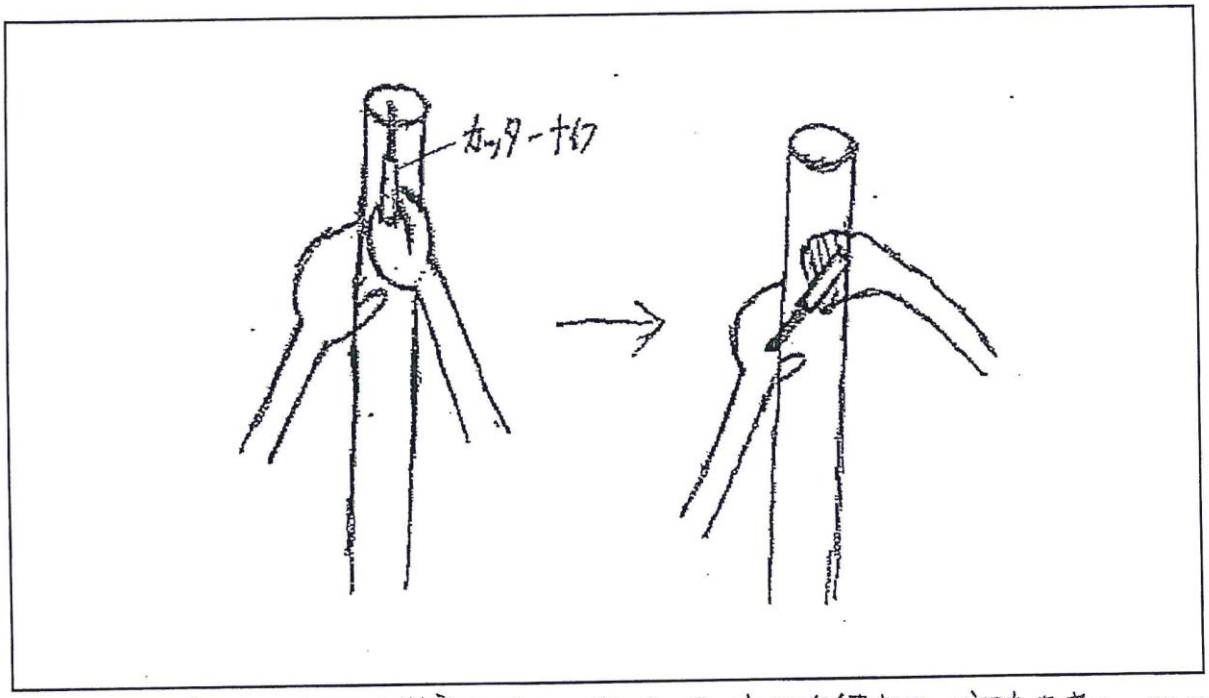
災害事故事例報告

② 『カッターナイフにてホースに切込みを入れる際、手の甲を切った』

カッターナイフにてホースに切込みを入れる際、手の甲を切った

発生年月日・時刻	
発生場所	
工事名称	
事業部・支社, 部課	
被災者	職種：社員　年齢：25 歳　経験年数：5 年
請負関係	
事故の型, 起因物	事故の型：切れ、こすれ　　起因物：カッターナイフ
傷病名・被災程度	左手の甲を切創　　休業見込日数：0 日（現場入場後日数：260日）
発生状況	既設の配管（３２Ａ）の開放端にブレードホースを接続し、外部へ排水しようとした。用意したブレードホースの内径が配管の外径より小さかったため、脚立に乗ったまま、カッターナイフにて切込みを入れている際に、手が滑って左手の手の甲を切創した。
発生原因	①サイズの合わないブレードホースを切り込んで使おうとした。（近くに分電盤があり、早急に排水する必要があったため。） ②脚立の上でカッターナイフを使用した。 ③刃先に手をおいて作業をした。 ④切創防止手袋をしていなかった。
対策	①②急いでいても、床上等の力の入れやすい作業姿勢で作業をする。 ③刃先には手を持っていかない ④カッターナイフを使用するときは切創防止手袋を着用する。

最近の若い人は、カッターナイフの使い方を知らないということが基本的にある。
正しい使い方を教えるべき。



カッターナイフの災害が多いが、カッターナイフを使わない方法を考えてみてわどうか
↓
使わない方が良い
↓
塩ビカッターで切る。ハサミで切る。

災害事故事例報告

③ 『廃棄物をゴミ置場へ捨てる際に鋭利な廃材を踏み負傷』

発生日時（拠点）				
被災者	所属会社	当社社員(出向契約)		
	職種	現場管理	年齢	46歳
	経験年数	15年	入場日	平成25年3月31日
負傷部位・程度	左足底部挫創		休業日数	不休
災害分類	型別	踏み抜き 災害		
	起因物	釘等の鋭利な廃材		
	■労働者 □一人親方・中小事業主 他			
請負体系（下請）	元請 → 当社			

◆災害発生状況◆

廃棄物をゴミ置場へ捨てる際に鋭利な廃材を踏み負傷

現場作業後の片付けを終え、廃棄物を屋外のゴミ置場へ捨てる際、釘等の鋭利な廃材を踏みつけてしまい、左足の土踏まずの部分を挫創。作業時は安全靴(JIS規格品)を着装していた。

◆ 災害発生要因（問題点等） ◆

・夜間で照明の無いゴミ置場の中で片付け作業を行なっていた為釘等の鋭利な廃材に気付かなかった。
・踏み抜きに対する危険意識が薄かった。

◆ 再発防止対策 ◆

・作業(片付け開始)前に予め床面を確認し、踏み抜きの恐れのある状況をなくす。暗い場合は、懐中電灯、照明等にて照度を確保する。
・作業状況に合わせ、安全靴内に踏み抜き防止インソールを着用。

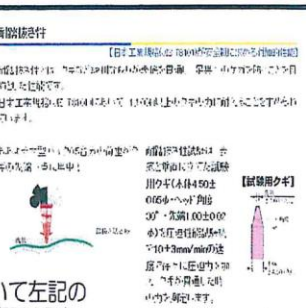
災害発生情報

No.27-15
安全環境部

◆ 災害発生状況図 ◆

外部の砂利の上に、
足場を敷いている状況

被災者の履いていた安全靴



※安全靴と踏み抜き防止カップインソール

JIS規格の安全靴の耐踏抜き性について左記の1100N(=kg・m/s^2)以上の基準が設けられているが、JIS規格の安全靴、踏み抜き防止インソール(靴の中に入れる中敷き)を装着していれば、踏み抜きが防げる訳ではなく、踏み抜き緩和の効果を得るものであり、鋭利なものが床面に無いかを確認することが必要です。

◆ 災害防止のポイント ◆

・作業前に床面の状況を確認する！

次に現場パトロールにおいての注意,指示事項を報告致します。

みなさん毎日の作業お疲れ様です。
今週初めは何十年に一度と言われる寒波が到来し県内でも非常に寒い日が続きました。しかし週末以降は急に暖かくなるような予報も出ていますので寒暖差に注意して体調管理に努めてください。またインフルエンザも例年より遅く今年に入って流行の兆しが出ているようですので十分な睡眠や手洗,うがいなど個人でできることから進んで行うようにお願いします。
次に事故事例ですが１月中に他県ではありますが塗装作業中に２名の方がなくなった事故が発生しています。壁吹き付け作業中に窓を閉め切った状態でコンプレッサーを使用して,不完全燃焼をおこし一酸化中毒により事故が起きたようです。当社においても重機や機械関係を使用するときはもちろんの事,他職さんと同じ作業エリアで仕事するときに事故にあう可能性もありますので今回の事例を教訓に注意して作業するようお願いします。また交通災害についても路面凍結による事故はもちろんですが最近は観光,夜行バスによる事故もよく報道されています。事故原因の本当のところはわかりませんが報道によるとあせっていた,ぼーっとしていた,眠たかったなどが原因と言われています。まずは運転中には余裕を持つ早めな行動をするようにして下さい。どうしても時間の余裕がない場合などはむりせず危険を感じたら休むこと,他の人に変わってもらうなど行ってください。また先日ように凍結の危険性がある場合は早めに会社,上司に連絡して無理な運転はすることのないようにして下さい。交通事故はもらい事故も多いので先程のバスの事故ではありませんが大型車両には十分気を配りなるべく近寄らないようにして下さい。

１月のパトロール内容

ＯＲ高校	あいかわらず各所内装資材が散乱していました。足元に注意して通行して下さい。工事の方も完成に近づいてきました。事故ないよう最後まで気を緩めず施工して下さい。またテスト,水張りは慎重に必ず行うようお願いします。
Ａ医療	建築工程の遅れがあり今後忙しくなるようです。現在のところ当社の作業では安全作業も問題ないように思いましたが時間の余裕がなくなるので無理な作業にならないよう注意して下さい。この現場も内装業者の整理,整頓ができていませんでした。
Ｓ病院	この現場もあと少しで完成です。他現場同様内装工事業者の資材の散乱が目立ちます。残器具付けと水張り調整になりますので最後まで漏水,労災ないようお願いします。
Ｏ大	脚立使用時は安全帯を使用する,もしくは２人作業でお願いします。現場入場時第三者との接触が起きないよう再徹底しておいてください。あともう少し整理,整頓するよう指示お願いします。床ころがし配管は養生や注意喚起を明示して破損対策をしておいて下さい。
Ｓ市民病院	安全については特に指摘はありませんが今後他社との輻輳作業が増えるのでよく調整して作業して下さい。外部敷き鉄板の通行は滑りやすいので注意して下さい。

S 公民館	当社は安全作業をしていましたが建築工程の遅れや資材未整理で非常に作業がやりにくい状態になっていました。また仮設足場もきちんと整備されていないように感じましたので注意して下さい。
ＫＴ小学校	既設小学校での作業ですので第三者には十分注意して下さい。またほこりが多いので防塵マスクを使用するよう指示して下さい。撤去材や再取付品はきちんと明示してわかりやすいようにしておいてください。
K 病院	毎回ですが場内は非常に整理,整頓ができていました。安全作業についても特に指摘はありません。今後も引き続きお願いします。
全体的	来月完成予定の現場が多いので絶対漏水がおきないよう再度テスト(水圧,通水)は行うようお願いします。また建築工程がどこも段取り悪いようですがあせって事故などおこらないよう慎重に作業お願いします。

今年も１か月たちました。引き続き事故のないよう作業の方よろしくお願いします。

上記の通り開催し、全員で決定しました。

３．出欠（出席者→□表示）

□山根	□森元	□藤原	□井谷	□岸本	□川上
□広坂	□篠原	□福永	□柴田	大内	□赤澤
□野口	美甘	□若林	小松原	植田	□小野
□吉澤	□堀	□西山	上田	□橋本	□亀高
伊丹	□扇	□山﨑	□濱田	□高岩	□亀山
□多久間	河田	阿部	斎藤		

・ 大平(一人親方)－□大平

・ 本安工業－本安明　□本安直

・ ギコオー－□平井　古林

・ 赤木(一人親方)－□赤木

・ 金山(一人親方)－金山

・ 谷澤設備－□谷澤隆

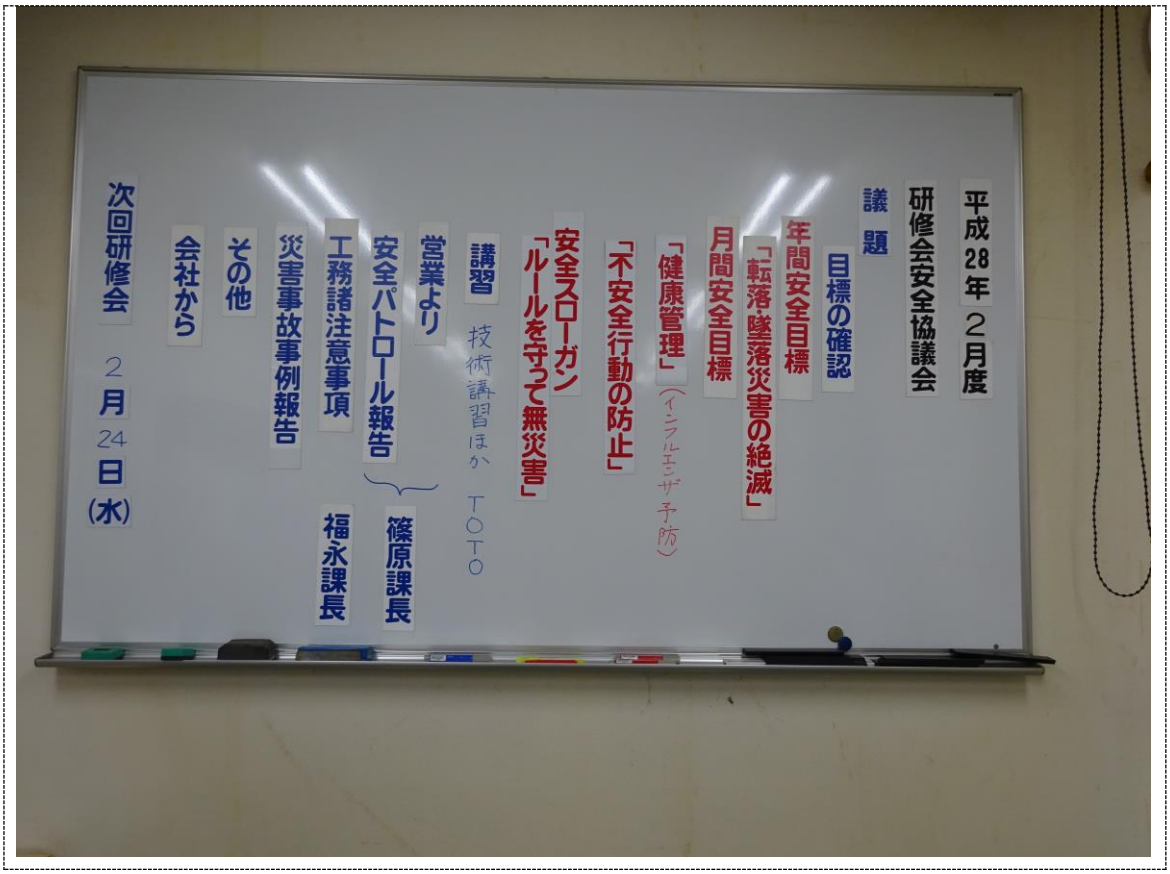
・ 玄馬(一人親方)－□玄馬

・ 樋口工業－樋口　□本安

・ 角田設備－角田

・ジェーコスミック　－□岡本

開催模様（写真）平成 28 年 1 月 27 日



開催模様（安全目標確認）平成 28 年 1 月 27 日

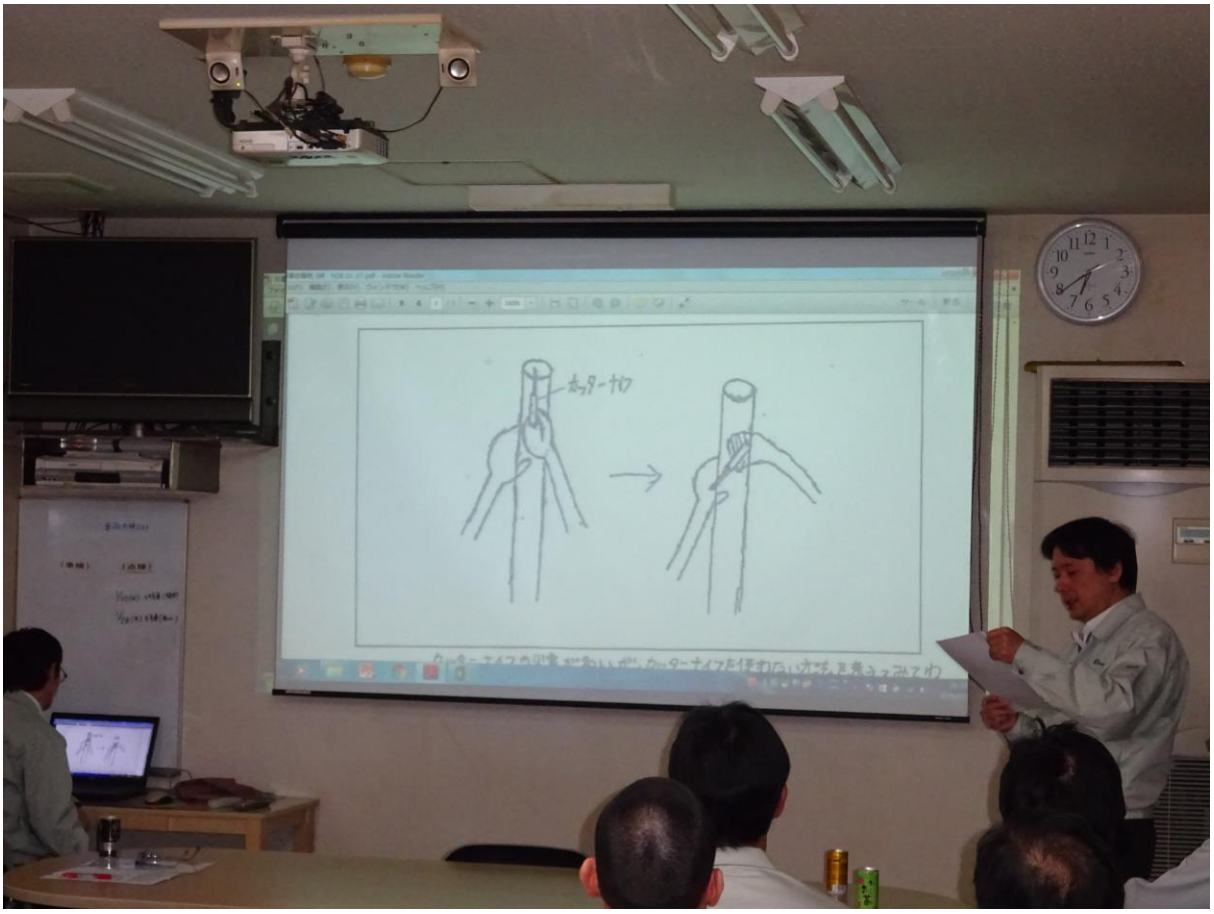
開催模様（講習）平成 28 年 1 月 27 日

開催模様（営業より）平成 28 年 1 月 27 日

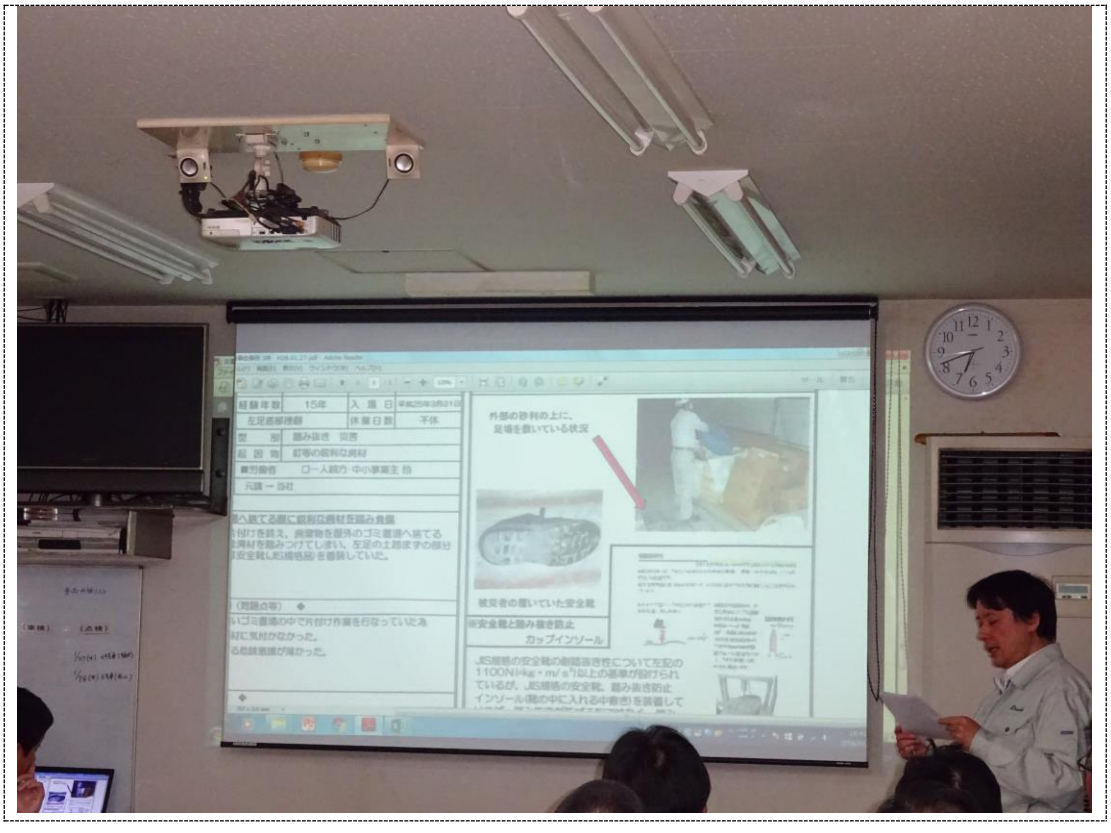
開催模様（工務諸注意事項）平成 28 年 1 月 27 日

開催模様（災害事故事例報告）平成 28 年 1 月 27 日

開催模様（災害事故事例報告）平成 28 年 1 月 27 日



開催模様（災害事故事例報告）平成 28 年 1 月 27 日



開催模様（会社より）平成 28 年 1 月 27 日

開催模様（会社より）平成 28 年 1 月 27 日